

取組：教師の指導力向上を図り、児童生徒の英語力向上につなげる。

当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

- ・小中高連携の実施について、学校間、地域間格差が大きい。また、目的が曖昧な中で実施されているケースも多く、教師の授業改善につながる効果的な取組になっていない。
- ・高等学校において、CAN-DOリストの効果的な活用が不十分である。また、授業における生徒の言語活動の割合も伸びていない。また、教師の授業中の英語使用も伸びていない。

Plan

■取組計画

【小中高連携】

- ・外国語指導助手等を活用した小・中・高連携モデル校事業
- ・県立中学校における即興型英語ディベートに関する取組

【小中学校】

- ・小・中英語授業づくりプロジェクト（訪問指導）
- ・英語授業映像資料配信

【高等学校】

- ・CAN-DOリストを盛り込んだシラバス作成 ・スピーキングテスト作成
- ・英語教育推進リーダー等による公開授業、研修会の実施 等

■体制

- ・外国語指導助手等を活用した小中高連携モデル校事業実行委員会 等

Do

【小中高連携】

■外国語指導助手等を活用した小・中・高連携モデル校事業

- ・小・中・高の授業公開（各1回）
オンラインによる動画を域内に配信。参観者アンケート実施
- ・Web会議システムを活用した遠隔交流授業（各1回）
小学校児童と中学校英語担当教員の交流授業
中学校生徒と高校所属外国語指導助手との交流授業
中学校生徒と高校生徒との交流授業

■県立中学校における即興型英語ディベートの取組

- ・県立中3校で研修及び公開授業を実施。各公開授業後、小中高の英語担当で意見交換の場を設定。

【小・中学校】

■英語授業づくりプロジェクト：小学校 10地域20回 中学校 50校

■英語授業映像資料配信：小学校 5本 中学校：3本

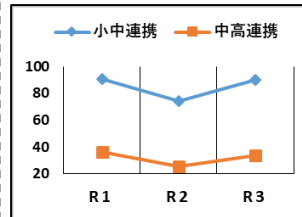
【高等学校】

- 指導と評価の整理票作成 ■スピーキングテスト作成
- 英語教育推進リーダー等による公開授業、研修会の実施（計5回）
各公開授業、研修会でテーマを設定（CAN-DOリスト活用等）

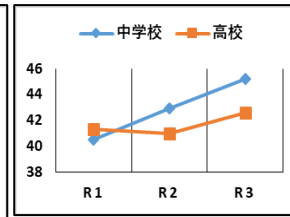
Check

■「英語教育実施状況調査」結果（R2は県独自調査）

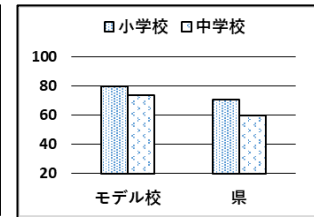
〈小中高連携の状況〉(%)



〈生徒の英語力の状況〉(%)

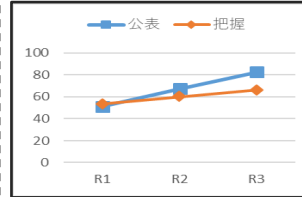


〈英語学習への好感度〉(%)

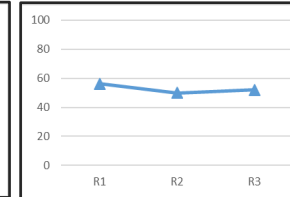


■高等学校

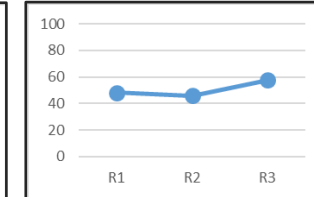
〈CAN-DOリスト公開・把握〉(%)



〈生徒の言語活動50%以上〉(%)



〈教師の英語使用50%以上〉(%)



Action

■小中高連携

- ・本年度の実績を踏まえ、別のモデル校を指定して事業を推進。
- ・県立中学校における即興型英語ディベートの取組を推進。公開授業の周知推進による小中高の情報交換の機会増加。

■高等学校

- ・指導と評価の計画の作成状況把握。 ・訪問指導等の充実。
- ・県教委によるライティングテストの作成。
- ・英語教育実施状況調査における各学校の経年データの分析。

成果の普及

熊本県教育委員会英語教育推進室HPリンク→

- （小・中学校）各校の取組をまとめた県教育委員会英語教育推進室HP

- （高等学校）各学校にスピーキングテスト配付（リンクなし）
各学校の英語教育実施状況調査経年データを送付

